

丹波縄文の森塾 活動報告

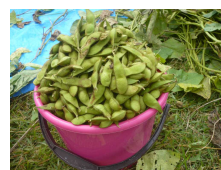
令和7年10月18日（土） 曇



枝豆とり



朝一番にみんなで枝豆とりをしました。津田サポーターの畑から刈り取ったばかりの新鮮な黒豆。サポーターと共に枝から鞘（さや）を手で取りました。昼食には、この枝豆を使って調理サポーターに美味しい枝豆ごはんを作ってもらいました。



足踏み脱穀機



きょうの予定は、昔ながらの脱穀と水生生物の観察。9月に稲刈りをした稲をリヤカーで運び、伝統的農具の「足踏み脱穀機」や「千歯こき」を使って脱穀しました。竹で作った「竹こき」も使って稲穂からモミを取りました。今では、コンバインで稲刈りから脱穀まで一気に終わらせることができますが、昔の道具を使うことで一粒のお米の大切さを実感しました。



千歯こき



昼食は、黒豆の枝豆ごはんとかぼちゃのクリームシチュー。かぼちゃは西本調理サポーターからの差し入れ。豆ごはんもシチューもたくさんおかわりしました。



昼食後は、ドングリ拾い。今年のドングリは豊作でみんなで10分ほど拾うとバケツ2杯ほど拾えました。このドングリでアクセサリーなどドングリ細工を作ってみたいですね。



水生生物観察



午後は、ホトケドジョウの会みなさんにお世話になって、グラウンド近くの川で水生生物の観察をしました。



水温は21℃。川の中に網をおいて、足で川岸を探ってみると様々な水生生物（タカハヤ、ヌマエビ、オイカワ、ムギツク、ドンコ、ヌマムツ、ヨシノボリ、ミナミメダカ、ヤゴなど）が捕れました。観察した後は、もとの川へリリースしました。

